



学校だより

校訓
自立
貢献
信頼

学校教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・思いやりのある生徒
- ・健康に努める生徒

希望を胸に未来へ前進する学校

令和8年7月1日 生徒数 911名



分かり易い大人にはなりません

校長 金子 二郎

時折、梅雨寒の日が見られ、着ていく服の選び方にも迷うことが少なくありません。この不順な天候に体調を崩す生徒も多いようです。保護者や地域の皆様におかれてはお変わりございませんでしょうか。学校では運動部の学校総合体育大会地区大会も開催され、日頃努力している自分自身に充実感を覚える生徒も少なくありません。1学期も残すところ3週間で切り間もなくまとめの時期になりますが、皆様のご理解やご支援のおかげで生徒が充実した毎日を送ることができております。心から感謝申し上げます。



以前、小学校に勤めていた頃、体育館での朝礼が終わり児童が教室に戻る最中、高学年の一人の女子から「校長先生の話は長くてつまらないから、みんな足をモゾモゾしているよ!」と大笑いしながら「お叱り」を受けたことがありました。「ごめんね、話をするのが先生のお仕事だし、『こうちょう』先生は『口長』先生って書くくらいだから我慢してね。」と笑い返しました。現代は小学校入学前から情報端末を

使いこなす子供も少なくありません。「タイパ」が当然で、30分程度の配信動画等も1.5倍速で見る子供も多いようです。面白くなければ最初の数秒ですぐ次のコンテンツにフリックしてしまいます。端的で分かり易く面白い話でないと受け入れてもらえません。私たち教職員も負けている訳にはいかず、指導技術としての話術を日々磨いています。ところで、わかりにくく面白い話は不要なのでしょうか。もちろん身勝手に冗漫な話は当然避けるべきですが、聞き手の誤解を避けて話し手の意図を正確に伝えるため、丁寧に言葉を選ぼうとすると、時として言葉はわかりにくくなりその量も増えてしまうことがあります。



同時に、相手の意図を正確に聞き取るためには、時間や技術(知識、語彙)、体力(エネルギー)も必要になります。コミュニケーションを成立させるために「なぜこの人はこの言葉を選んだのか」と全身全霊で傾聴しなければならない時もあります。一方、分かりやすい話は聞く側には好評でも、人によって受け取る内容に差が生じるおそれもあります。分別盛りの大人も被害者となってしまう「振り込め詐欺」が

後を絶たないのも、つい「わかりやすい」話に心が動いてしまう点にあるのかも知れません。SNSにより情報があふれる現代。「ちょっとよくわからない話だけど、もしかしたら自分にとってすごく大切な話なのかも知れない」という感覚は、様々な犯罪から自らを守るために子供たちにも持っていてほしいと思います。言葉に代表される知識を身に付けることの意味がここにもあると思います。物分りの良い大人を目指すのではなく、「まずは大人の話聞くものだ」という姿勢を示すのもたまには良いかも知れません。



良薬は口に苦くして病に利あり。忠言は耳に逆らいて行いに利あり。(孔子)